

□議員名：伊場 勇

1 建設工事の入札制度について

論点	建設工事の入札制度について山口県では原則として全ての工事に総合評価方式を適用しているが、本市の状況と今後の方針はどうか。
回答	平成21年度から特別簡易型による入札を開始し、平成27年度から令和3年度までは年間1本程度の土木一式工事を発注している。今後は他の工種、業種にも総合評価方式で発注できるよう調査研究していく。

論点	特別簡易型総合評価方式において地域貢献度の評価項目は4つだが、業者に合った取組の選択肢を増やす等の目的で、項目を増やしてはどうか。
回答	項目追加の方向で検討し、今年度中に事務手続きを終えて来年度発注分から適用していきたいと考えている。

論点	プロポーザル方式の入札審査結果は、総得点以外にも公開するべきではないか。
回答	ガイドラインに沿って運用しており、落選企業の利益を害するおそれがあるため総合点のみ開示しているが、他市町の状況を研究しながら必要があれば、ガイドラインの見直しをしていきたいと考えている。

2 ゴルフ場を活用したまちづくりについて

論点	市にゴルフ場があるメリット・デメリットについて何があると本市は考えているか。
回答	市にとって貴重な観光資源の一つであり、インバウンドにおいても重要な観光資源である。また、ゴルフ場利用税交付金は、本市の財政運営に大きく貢献しており、生涯学習の観点では、市民の健康づくり、生きがいづくりに寄与している。デメリットについては、特にない。

論点	ゴルフを活用したインバウンド促進の取組を始めるべきではないか。
回答	今後、インバウンド需要を取り込む取組については、山口県や山口県観光連盟、山口県交際観光推進協議会が実施する公益観光によるモニターツアーや商談会等へ参加し、積極的にPRを行いたいと考えている。

